

商工会女性部はまちに  
元気と安心をお届けしています。

# はちみつ 通信

## 地域の活性化や

## 復興支援に貢献する

## 「音楽と語りのコンサート」

（かきぞらよう）  
扶桑町商工会女性部（愛知県）



扶桑町は、名古屋を中心とした町外勤務者のベッドタウンとしての役割を担う人口約3万5千人のまち。砂質の土壌を生かした伝統野菜・守口大根の産地としても知られています。

扶桑町商工会女性部では、これまで行ってきた事業に加えて、2022年度からは地域資源の活用と活性化を目的とした事業の一環として、町内文化会館の大ホールを利用し「音楽と語りのコンサート」を開催しています。司

会や語り、会場案内などはすべて女性

部員が担当し、コンサートの最後には登壇し女性部の活動やお店の紹介を行うなど、地域の皆様に存在を広く知っていただく貴重な機会となっています。

3回目の開催となった2024年度のコンサートタイトルは、「復興応援チャリティーコンサート 能登半島に思いを寄せて〜二胡とハーブのしらべ〜」。この年にこそ取り組むべきと強く思い、立案した企画内容です。

## 地元で親しまれてきた きじ肉を活用した特産品 「きじ釜めし」を開発

（かきぞらよう）  
笠置町商工会女性部（京都府）



京都府南東部に位置する笠置町は、木津川の清流と四季折々の豊かな自然、そして古来、信仰の地として栄えてきた歴史あるまちです。シンボルともいえる笠置山には、巨岩・奇岩が点在し、古代より修験道の行場として多くの参拝者を集めてきました。また、春には桜、秋には紅葉、冬には名物料理「きじ鍋」と、観光資源が豊富なまちでもあります。

そんな笠置町で女性部が着目したの

が特産品の開発でした。これまで「これぞ特産品」と呼べる名物がなく、観光客に地域ならではのお土産や食体験を提供できないという課題がありました。そこで商工会を中心に、地域一丸となった特産品開発プロジェクトが立ち上がり、女性部もその中核として参画しました。

山間の自然に囲まれた笠置らしさを感じられる食材を使おうという案から、地元で親しまれてきた「きじ肉」を使





第3回コンサートのステージにて女性部メンバーと出演者

コンサート当日は、平日にもかかわらず約600名の方にご来場いただき、会場は満席に。演奏の合間には、能登の歴史や民話を紹介するとともに、地震や大雨による被害の様子を写真と語りで伝え、復興支援への思いと防災の大切さを呼びかけ、盛況のうちに終了。当日の会場には募金箱を設置し、寄せられた義援金は扶桑町を通じて石川県へ寄付させていただきました。ま



コンサートパンフレット



扶桑町を通じて復興支援の義援金を石川県へ寄付

た、この取り組みは地元紙やケーブルテレビでも取り上げられ、幅広い反響とご支援の声が寄せられました。2025年度には夏まつりの盆踊りを支えるなど、地域行事への積極的な参加も進めています。今後も新たな活動に挑戦しながら、女性部員同士の団結を深め、地域の皆様と共にまちの活性化に取り組んでまいります。

用。女性部のメンバーを中心に何度も試作を重ね、味のバランスや見た目の美しさにもこだわり、ついに「きじ釜めし」が完成しました。その過程では、巨石のまちらしい素朴な甘みの「ゆるぎ鉛」など、地元の風景や歴史を映したユニークな商品も誕生しました。

現在、「きじ釜めし」は春の「さくらまつり」や冬の「鍋フェスタ」など、まちの季節イベントで販売され、今では「笠置の味」として観光客や地元住民にも親しまれています。

明るく笑いの絶えない私たち女性部の取り組みが、地域内のつながりと活力に貢献することを信じ、これからもがんばっていきます。豊かな自然と歴史、地域の人の温かさに出会える小さなまち。ぜひ一度、笠置町へ遊びに来てください。



右/「きじ釜めし」のPRバナー広告 上/女性部が中心となって開発した「きじ釜めし」 中/盛り付けをする女性部員 下/地域のイベントで販売

末武 榮子  
前全女性連会長  
ご逝去

長年にわたり商工会女性部の発展に尽力された末武榮子氏が10月10日にご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。